

「核兵器のない世界」それは、原爆の悲劇を体験した、私たち日本人の願いであります。

核兵器廃絶と世界恒久平和を望む声の高まりとともに世界は、核軍縮に向かいつつあります。しかし、一方で、自国防衛を口実にした核保有・核実験は依然行われており、なお何万発もの核兵器が、人類の生存を脅かしています。一昨年、国連において「核兵器禁止条約」が採択され、核兵器を禁止する国際社会の強い意志が示されたかたちとなりました。

広島・長崎に原爆が投下されてから74年という長い年月が経過しましたが、被爆によって受けた痛みの記憶が消えることはありません。

私たちは、その記憶・記録を世界で唯一原爆が投下された国として世界に核兵器廃絶を訴えていかなければなりません。また、過去の歴史を見つめ直し、戒めることによって、新たな平和社会を築いていかななくてはなりません。二度とあの様な悲惨な光景が、地球上のどこであってても起こることのないように・・・。

「核兵器のない平和で公正な世界」実現への願いを込め、原水爆禁止2019年世界大会へのメッセージとさせていただきます。

令和元年7月12日

岐阜県土岐市長 加藤淳司